

(様式2)

授業科目の概要について

学校名:	秋田県立大学
課程名:	スマート農業指導士育成プログラム

要件該当授業時数:	62時間
要件該当授業時数/総授業時数:	89%

分類	科目名	配当年次	授業時数	企業等	双方向	実務家	実地	担当教員・実務家名	教員・実務家の所属
必修	スマート農業総論①		1.5/1.5			○		梅本雅	農業・食品産業技術総合研究機構
必修	スマート農業総論②		0/1.5					松本賢英	農林水産省農林水産省 大臣官房政策課技術政策室
必修	スマート農業における技術要素①		1.5/1.5			○		鈴木一哉	秋田県立大学システム 科学技術学部(実務家教員)
必修	スマート農業における技術要素②		0/1.5					猿田和樹	秋田県立大学システム 科学技術学部
必修	スマート農業における技術要素③		1.5/1.5			○		景山陽一 石井雅樹	秋田大学大学院理工学研究科、 秋田県立大学システム科学技術 学部(実務家教員)
必修	スマート農業における技術要素・演習		3/3			○		猿田和樹 石井雅樹	秋田県立大学システム 科学技術学部(実務家教員)
必修	ロボット農機総論		1.5/1.5			○		西村洋	秋田県立大学アグリノベーション 教育研究センター(実務家教員)
必修	ロボット農機概論①<水田作>		1.5/1.5			○		高橋太陽 藤井悠	ヤンマーアグリジャパン 株式会社東北支社
必修	ロボット農機演習<水田作>		6/6			○		木下武志	株式会社クボタ
必修	ロボット農機概論②<施設園芸>		1.5/1.5			○		西野秀幸他	株式会社デンソー
必修	ロボット農機概論③<畜産>		1.5/1.5			○		渡邊潤	秋田県立大学アグリノベーション 教育研究センター(実務家教員)
必修	圃場水管理作業の自動化		1.5/1.5			○		若杉晃介	農業・食品産業技術総合研究機構
必修	圃場水管理システム概論①<水田>		1.5/1.5			○		島村博	ベジタリア株式会社
必修	圃場水管理システム概論②<露地・施設園芸>		1.5/1.5			○		喜多英司	株式会社ルートレック・ネットワークス
必修	農業用ドローン総論		0/1.5					山本聡史	秋田県立大学生物資源科学部
必修	農業用ドローン概論①		1.5/1.5			○		鳥潟與明	東光鉄工株式会社
必修	農業用ドローン演習①		3.5/3.5		○	○		担当者	東光鉄工株式会社
必修	農業用ドローン演習②		3.5/3.5		○	○		米山雅宗	株式会社池田
必修	農業用ドローン・リモートセンシング概論		0/1.5					山本聡史	秋田県立大学生物資源科学部
必修	農業データ利活用総論		1.5/1.5			○		林和信	農業・食品産業技術総合研究機構
必修	農作業データ利活用概論①		3/3			○		担当者	全国農業協同組合連合会
必修	農作業データ利活用演習		4/4			○		担当者	全国農業協同組合連合会
必修	農作業データ利活用概論②		1.5/1.5			○		藤原拓真	ウォーターセル株式会社
必修	農業機械データ利活用概論		1.5/1.5		○	○		担当者	株式会社クボタもしくはヤン マーアグリジャパン株式会社
必修	農業機械データ利活用演習		1.5/1.5	○	○	○		担当者	株式会社クボタもしくはヤン マーアグリジャパン株式会社
必修	農業環境データ利活用概論		1.5/1.5			○		持田宏平	株式会社セラク

必修	農業環境データ利活用演習		6.0/6.0		○	○	みどりクラウド事業部	株式会社セラク
必修	農業経営データ利活用概論		1.5/1.5			○	生駒祐一	テラスマイル株式会社
必修	技能継承とスマート農業		1.5/1.5			○	信田正志 久寿居大	NECソリューションイノベータ株式会社
必修	スマート農業普及論①		3/3		○	○	福田浩一 上田賢悦	株式会社日本農業サポート研究所、秋田県立大学生物資源科学部(実務家教員)
必修	スマート農業普及論②		1.5/1.5		○	○	普及指導員等	スマート農業推進先進事例の自治体
必修	スマート農業普及論③		1.5/1.5		○	○	上田賢悦 農業経営者	秋田県立大学生物資源科学部(実務家教員)、県内農業経営体
必修	スマート農業普及論④		0/1.5				櫻井健二	秋田県立大学生物資源科学部
合計:	33科目					69.5		時間

* 申請する課程で受講可能な全ての科目について記入してください。

* 「企業等」、「双方向」、「実務家」、「実地」の欄に○を付けた科目については、要件に該当することを明記したシラバスを添付してください。